

2 生きがいを感じる居場所づくり

高齢者が地域社会で「居場所」や「出番」を得ることやこれまで培ってきた豊かな知識や経験を生かし、地域社会の担い手として、健康で意欲を持ち続けながら活躍できるよう、高齢者の活躍の場づくりや自主的な取組への支援を行っていきます。

(1) 多彩な活躍

現状と課題

(i) 生きがい就業

内閣府「高齢化の状況及び高齢社会対策の実施状況」（令和元年度）によると、就業している人は就業していない人に比べて、経済的に心配なく暮らしている割合や、生きがいを感じている割合が高いことから、就業する高齢者が増えることは、高齢期の生活の豊かさを高めるとともに高齢者自身が支え手となって地域の豊かさを高めることにもつながっているとされています。

高齢者が年齢にかかわらず働き続けることができる生涯現役社会の実現に向け、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」で65歳までの安定した雇用を確保するため、企業では「定年制の廃止」や「定年の引上げ」、「継続雇用制度の導入」のいずれかの措置（高年齢者雇用確保措置）を講じるよう義務付けられています。さらに法改正により、令和3年4月からはこれを70歳まで延ばすことが努力義務となります。

厚生労働省の調査によると、本県においては、希望者全員が65歳以上まで働くことができる中小企業（従業員31人以上301人未満）の割合は、平成28年度の81.1%から令和元年度には86.3%と増加しています。（図表Ⅲ-4）

人口減少、少子高齢化が進む中、社会の活力を維持していくために、就業意欲と豊富な知識や経験を持つ高齢者が、年齢に関わりなく希望する働き方ができるよう、企業を退職した高齢者の多様な就業機会を確保することが必要となっています。

シルバー人材センターは、本県では25市町村に23団体が設置されており、原則として60歳以上の方に対し、家庭・事業所・地方公共団体等からの依頼に応じて就業機会を提供しています。

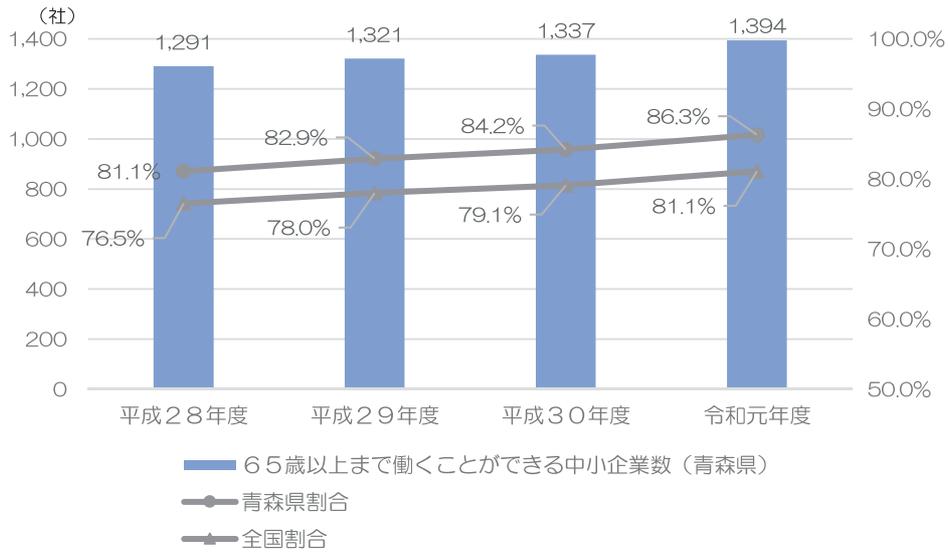
本県のシルバー人材センターの活動状況について、契約額は増加傾向にありますが、会員数及び受注件数は減少傾向にあることから、地域が求めるニーズ及び高齢者の就労ニーズにマッチする新たな分野の就業を開拓していくことが課題となっています。（図表Ⅲ-5）

また、我が国では、起業者全体に占める60歳以上の方の割合が高まっています。本県においても、定年退職等を経た60歳以上の方が県内各地で起業しており、創業支援拠点の設置が始まった平成18年度から令和元年度までに県内の創業支援拠点（8市10拠点）を利用して起業した60歳以上の方は合計36名となっています。

60歳以上の方による起業は、企業等の在籍時に培った人脈や専門知識を活用したり、やりがい・生きがいを重視できるなどの強みがあり、60歳以上の方ならではの起業のノウハウの普及啓発や起業に向けた支援が必要です。

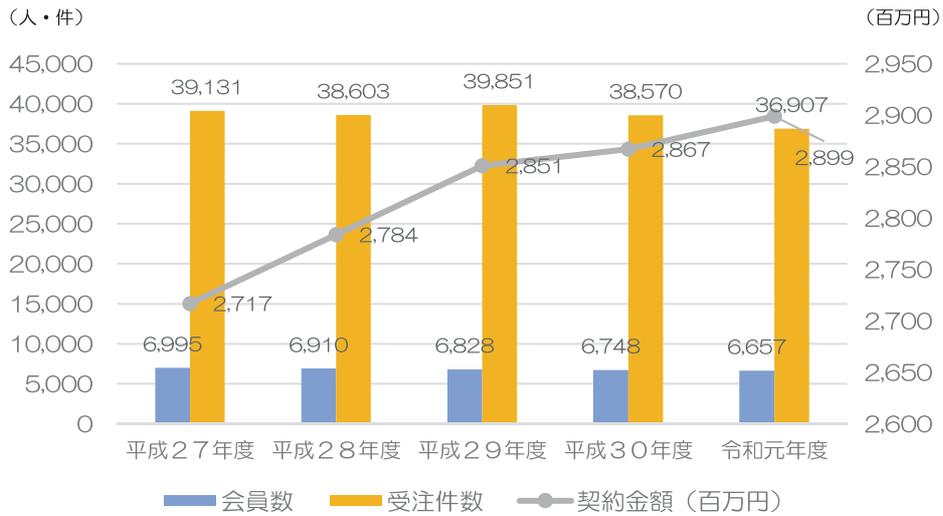
【関連データ】

図表Ⅲ－４ 希望者が65歳以上まで働くことができる中小企業の割合



資料：厚生労働省・青森労働局「高齢者の雇用状況」

図表Ⅲ－５ 県内のシルバー人材センターの活動状況



資料：公益社団法人青森県シルバー人材連合会「事業報告」

(ii) 地域貢献活動

地域の元気な高齢者には、地域の支え手として地域づくりに参画し、生活支援サービス(※)等の担い手として、幅広い活動が期待されています。総務省の平成28年社会生活基本調査によると、本県においては、65歳以上のボランティア活動行動者率は全国46位(青森県20.9%、全国25.3%)であり、ボランティア活動への参加率は全国と比べて低い状況にあります。

ボランティア活動は、生きがい、健康維持、孤立防止等につながるとともに、地域社会に貢献し、世代間、世代内の人々の交流を深めて世代間交流や相互扶助の意識を醸成するものであることから、こうした活動の推進や参画支援を図ることが重要です。

(※) 生活支援サービス(介護予防・生活支援サービス事業)の内容

訪問型サービス	掃除、洗濯等の日常生活上の支援を提供
通所型サービス	機能訓練やつどいの場など日常生活上の支援を提供
その他の生活支援サービス	栄養改善を目的とした配食や一人暮らし高齢者等への見守りを提供

施策の方向性

(i) 生きがい就業

- 高齢者が豊かな知識と経験を発揮しながら、年齢に関わりなく、意欲・能力に応じて活躍できる環境づくりを推進します。
- 就業意欲のある高齢者が、年齢に関わりなく希望する働き方ができるような環境づくりを推進します。
- 高齢者の起業を支援します。

(ii) 地域貢献活動

- 高齢者が豊かな知識と経験を発揮しながら、年齢に関わりなく、意欲・能力に応じて活躍できる環境づくりを推進します。

具体的施策

(i) 生きがい就業

- 青森労働局等と連携し、希望者全員が65歳以上まで働くことができる中小企業の割合を高めます。
- 高齢者の多様なニーズに対応するため、公益社団法人青森県シルバー人材連合会等と連携し、より長く働く希望を持つ会員に就業機会を与えられるよう、民業圧迫とならない形で就業機会の拡大措置を推進します。
- 60歳以上の方を県内の創業支援拠点に誘導し、起業に向けて専門家等から適切なアドバイスを行うことで、本県における60歳以上の方の起業の増加を目指します。

(ii) 地域貢献活動

- 高齢者が地域において生活支援サービス等の担い手として活躍できるよう、活躍できる場と高齢者の希望を結びつける仕組みづくりを進めます。
- 青森県ボランティア・市民活動センターにおいて、高齢者を対象とした研修会を開催し、高齢者のボランティア活動を促進します。
- 平成24年度から実施している青森シニアカレッジにおいて、社会貢献やボランティア活動のための基礎講座や、福祉施設等でのボランティア活動の実践講座を開講し、高齢者のボランティア活動を促進します。

達成目標

(i) 生きがい就業

指標名	現状	目標 (令和5年度)
希望者全員が65歳以上まで働くことができる中小企業の割合	86.3% (令和2年度)	増加
県内のシルバー人材センターの目標会員数	6,657人 (令和2年度)	9,074人
県内のシルバー人材センターの受注件数	36,907件 (令和2年度)	増加
県内の創業支援拠点を利用した60歳以上の起業者数	6人 (過去5年平均)	増加

(ii) 地域貢献活動

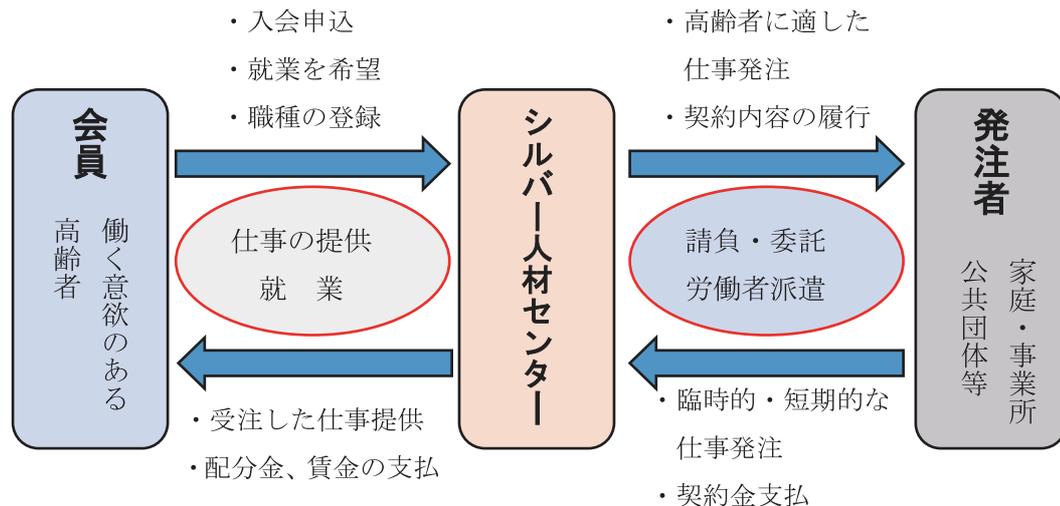
指標名	現状	目標 (令和5年度)
地域支援事業の生活支援サービスの担い手として働く高齢者数(住民主体による支援(B型)、移動支援(D型))	284人 (令和2年3月末)	300人
青森県ボランティア・市民活動センターが開催する高齢者を対象としたボランティア研修会の参加者数	432人 (令和元年度)	550人

コラム

◆ シルバー人材センターの概要

1. シルバー人材センターについて

健康で働く意欲のある原則 60 歳以上の高齢者を会員とし、家庭、事業所、公共団体等から依頼された高齢者にふさわしい就業機会を請負・派遣事業等の形式で提供しています。これにより、高齢者の更なる生きがいの充実・健康の維持を図り、高齢者の福祉の増進や地域社会の発展へ寄与することを目的としています。



【シルバー人材センターが引き受けている仕事(例)】

(一般家庭) 大工、左官、塗装、薬剤散布、ハチの巣駆除、家庭の支援 等

(事業所、公共団体等) 草刈り、清掃、雪囲い、駐車場・施設管理、受付・一般事務 等

2. 青森県内シルバー人材センター設置状況

青森県内には、25 市町村(10 市 13 町 2 村)に 23 団体(広域 2 団体含む)が設置。

(公財) 青森市シルバー人材センター 青森支所・浪岡支所	
(公社) 弘前市シルバー人材センター	(公社) 八戸市シルバー人材センター
(公社) 黒石市シルバー人材センター	(公社) 五所川原市シルバー人材センター
(公社) 十和田市シルバー人材センター	(公社) 三沢市シルバー人材センター
(公社) むつ市シルバー人材センター	(公社) つがる市シルバー人材センター
(公社) 平川市シルバー人材センター	(公社) おいらせ広域シルバー人材センター
(公社) 中部上北広域シルバー人材センター	(公社) 中泊町シルバー人材センター
(一社) 板柳町シルバー人材センター	大鰐町シルバー人材センター
藤崎町シルバー人材センター	田舎館村シルバー人材センター
鶴田町シルバー人材センター	野辺地町シルバー人材センター
風間浦村シルバー人材センター	平内町シルバー人材センター
三戸町シルバー人材センター	横浜町シルバー人材センター

(2) 多様なコミュニティへの参加

① つどいの場

現状と課題

一般社団法人日本老年学的評価研究機構（JAGES）の研究では、高齢者がサロンに参加して身体や頭を動かして刺激のある環境にあって、さらに仲間と共に過ごす時間を持つことで、要介護状態になりにくいことがわかっています。（図表Ⅲ－6）

令和元年6月に策定された認知症施策推進大綱においては、地域において高齢者が身近に通える場を拡充するとともに、一般住民や高齢者全般を対象に整備されている社会参加活動・学習等の活動の場も活用し、認知症予防に資する可能性のある活動を推進することとされたところです。

国では、このようなサロンや通える場を「通いの場」という名称で、「運営主体が住民主体で介護予防に資するもの」として推進していますが、本県ではこれに限らず、設置主体が行政のものも含め、幅広く「つどいの場」として推進しており、参加者も増加傾向にあります。（図表Ⅲ－7）

「つどいの場」に参加することで地域の様々な人たちとのつながりが増え、自分の役割を意識することとなり、生きがいを感じることができます。また、住民同士が互いに気に掛け合い、見守り活動にもつながることも期待されます。

現状では、地域に多様な「つどいの場」が増え、参加する高齢者の日常生活の一部に浸透しつつある一方で、世話役や参加者の高齢化、新たな参加者が増えない等により存続が困難となる「つどいの場」も少なくありません。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が停滞している「つどいの場」もあります。

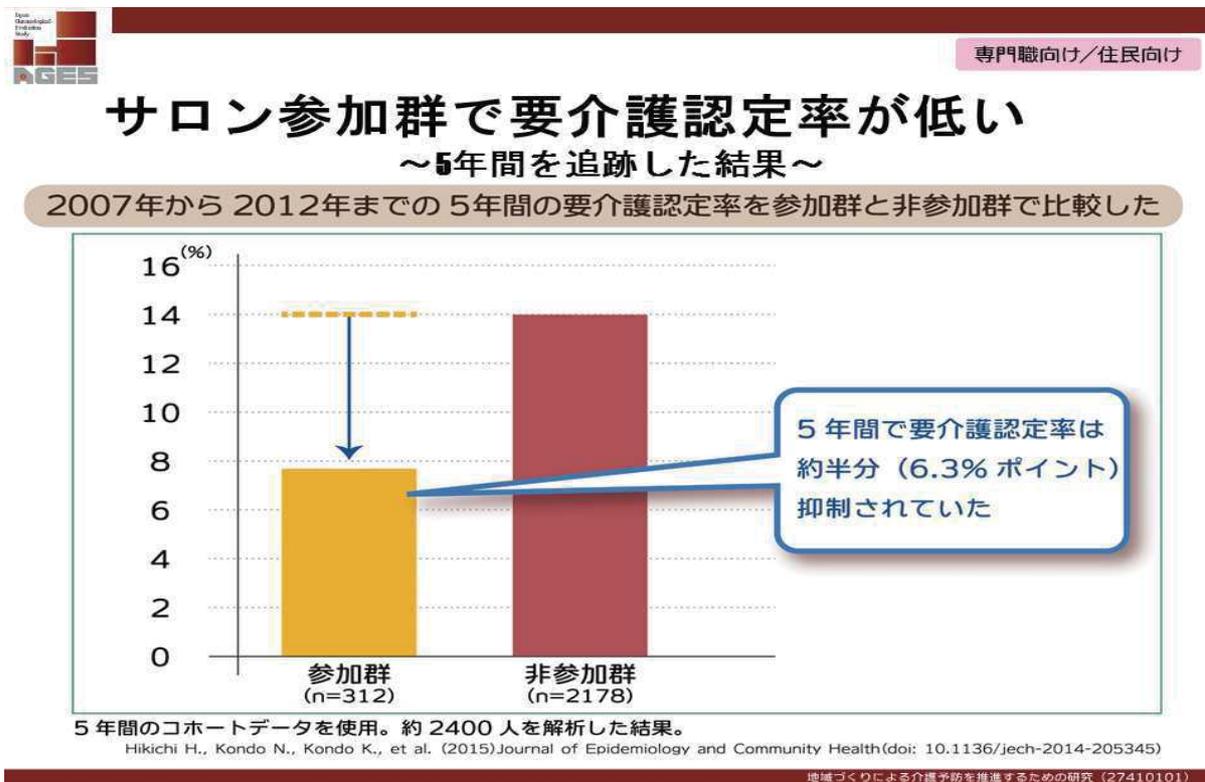
高齢者の社会参加には「つどいの場」以外にも多様なニーズや方法があることに留意したうえで、「つどいの場」に参加しない高齢者の中で介護予防の支援が必要な高齢者を把握して「つどいの場」への参加を促すことを含めて必要な支援につなげることも重要です。

市町村は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しつつ、地域の実情に合わせて「つどいの場」づくりを推進し、その機能を拡充していくために、県の支援のもと、地域の関係機関と連携しながら、次の（ア）～（ウ）の取組を進めていく必要があります。

(ア) 介護予防の取組との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・「つどいの場」を実施拠点とした介護予防（フレイル対策）と疾病予防 ・重症化予防の一体的な取組の実施 ・市町村の庁内各部局間の連携体制整備 ・地域ケア会議等の活用 ・地域の健康課題の把握 ・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等の効果的な関与
(イ) 生活支援体制整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターや市町村職員等の実践手法の習得
(ウ) 設置数・参加者の増加に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・参加しない高齢者への対応 ・参加者の増加に向けた地域特性に応じた更なる取組 ・参加に対するポイント付与等によるインセンティブ ・介護予防ボランティアポイント制度等の活用 ・住民主体の取組の立ち上げ支援や動機付けのための啓発 ・高齢者の健康づくりに関する啓発

【関連データ】

図表Ⅲ－６ 高齢者サロンへの参加と要介護認定率等の相関関係



資料：一般社団法人日本老年学的評価研究機構（JAGES）研究資料

図表Ⅲ－7 県内の介護予防に資する通いの場の展開状況

区分	平成30（2018）年度		令和元（2019）年度		
	人数	高齢者人口に占める割合	人数	高齢者人口に占める割合	
高齢者人口（65歳以上）	408,815	－	417,143	－	
住民運営の通いの場への参加者実人数	10,396	2.54%	12,815	3.07%	
（内訳）	体操（運動）	3,422	0.84%	5,283	1.27%
	会食	1,274	0.31%	1,455	0.35%
	茶話会	3,148	0.77%	2,991	0.72%
	認知症予防	362	0.09%	468	0.11%
	趣味活動	2,015	0.49%	2,383	0.57%
	その他	175	0.04%	235	0.06%

※ 体操や趣味活動等を行い介護予防に資すると市町村が判断する通いの場であり、運営主体が住民で、月1回以上の活動実績と「主な活動内容」及び「参加者実人数」を把握しているものを計上している。（市町村が財政的支援を行っているものに限らない。）

資料：厚生労働省 介護予防・日常生活支援総合事業（地域支援事業）の実施状況に関する調査

施策の方向性

- 高齢者の介護予防や健康づくり・生きがいつくり、参加者同士の困りごとの支え合いの拠点として「つどいの場」が設置・拡充されるよう、市町村の取組を支援します。
- 薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、歯科衛生士等の関与により、「つどいの場」の機能が一層強化されるよう、市町村の取組を支援します。

具体的施策

- 生活支援コーディネーター等の生活支援体制事業の関係者を対象とした研修を開催します。
- 全国的な先進的事例を収集し、市町村に情報提供するとともに、新たな「つどいの場」の立ち上げに関し、アドバイザー派遣等により支援します。
- 「つどいの場」の設置・拡充の支援として、市町村と関係機関の連携体制を構築するための会議・研修会を開催することで市町村を支援します。
- 「つどいの場」が住民主体の継続的な介護予防の取組の場となるよう、理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会と連携して派遣調整を実施し、介護予防活動の地域展開を支援します。
- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取組が効果的に推進されるよう、アドバイザー派遣等により支援します。
- 県の広報媒体等を活用し、「つどいの場」づくりの気運醸成のための啓発を図ります。

達成目標

指標名	現状 (令和元年度)	目標 (令和5年度)
「つどいの場」のか所数	927 か所	1,250 か所
「つどいの場」を週1回以上開催するか所数	288 か所	400 か所
「つどいの場」の参加者実人数	12,824 人	25,380 人

コラム

◆ 地域支援事業における「つどいの場」の位置づけ

<図表 21：通いの場は総合事業の2つの目標に貢献する>



資料：三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング「地域支援事業の介護予防・日常生活支援総合事業の市町村による円滑な実施に向けた調査研究事業」（平成 27 年度老健事業）

② 生涯学習・生涯スポーツの推進

現状と課題

総務省の平成 28 年度の社会生活基本調査によると、本県の 65 歳以上の学習・自己啓発・訓練活動行動者率は全国 45 位（青森県 18.5%、全国 25.8%）となっており、学習・自己啓発・訓練への参加率は全国と比べて低い状況にあります。

青森県総合社会教育センターでは、高齢者を含む県民の生涯学習を総合的に支援するため、あおり県民カレッジを運営しています。人生 100 年時代において、生涯にわたって意欲的に学習に取り組む高齢者の増加を図るため、情報化が急速に進む中で多様化する学習ニーズに対応して、あおり県民カレッジの講座について、内容をより一層充実させることや受講形態を工夫することなどが求められています。

また、青森県長寿社会振興センターでは、全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手派遣、青森シニアフェスティバル等スポーツ・文化イベント開催により高齢者のスポーツ・文化活動の普及に努めているほか、青森シニアカレッジでは、高齢者に学習の機会を提供しており、こうしたイベントをより魅力的なものとし、その普及を推進する必要があります。

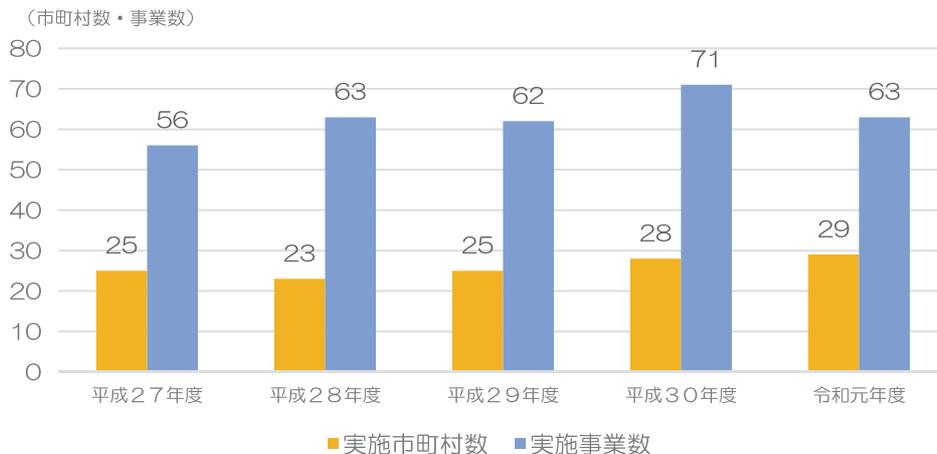
さらに市町村では、高齢者向けの各種学習事業を実施しており、実施事業数は年度によって増減が見られるものの、実施市町村数は平成 29 年度から増加傾向にあります。（図表Ⅲ－８）今後、高齢者にとって魅力のある講座を増やし、生涯学習の充実に向けて取り組むことが求められています。

そのほか、地域を基盤とする高齢者の自主的な活動組織として老人クラブがあり、文化・スポーツなど、高齢者自身の生活を豊かにする活動にとどまらず、各種ボランティア活動（友愛訪問、伝統保存、世代間交流、環境美化等）などの地域を豊かにする社会活動にも取り組んでおり、地域共生社会における地域支援の担い手としても期待されていますが、本県の老人クラブの数および会員数は年々減少傾向にあります。（図表Ⅲ－９）

こうした現状を受け、青森県老人クラブ連合会では、老人クラブ活動等のより一層の活性化を図るとともに、高齢者の健康づくり等を推進するため、健康づくりをはじめとした地域活動を推進する総合的なリーダーを養成する健康福祉大学校を毎年県内 3 市町村で運営しており、受講者は地域のリーダーとして活躍しています。

【関連データ】

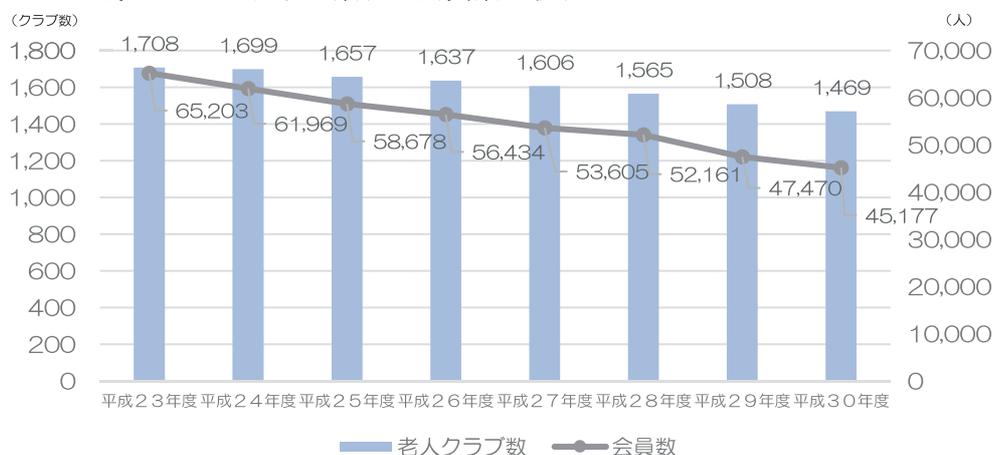
図表Ⅲ－８ 県内市町村における高齢者向け学習事業の実施状況



区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実施市町村数	25	23	25	28	29
青森	3	3	3	3	4
津軽	4	4	4	5	5
八戸	6	6	6	6	6
西北五	4	4	5	5	5
下北	2	2	2	2	2
上十三	6	4	5	7	7
実施事業数	56	63	62	71	63
青森	21	30	26	36	28
津軽	7	7	7	8	8
八戸	7	7	7	7	7
西北五	9	9	11	8	8
下北	2	2	2	2	2
上十三	10	8	9	10	10

資料：青森県教育庁生涯学習課

図表Ⅲ－９ 県内の老人クラブ数及び会員数の状況



資料：厚生労働省「福祉行政報告例」

施策の方向性

高齢者のつどいの場などの交流の場づくりや、生涯学習・生涯スポーツ、老人クラブ活動などを通じて、一人ひとりの生きがいを高める取組を推進します。

具体的施策

- 高齢者を含めた県民の生涯学習を総合的に支援するため、あおもり県民カレッジの講座内容の充実に努めるとともに、県内市町村において高齢者対象の学習事業等が広く実施されるよう支援します。
- 個々の老人クラブ、市町村老人クラブ連合会及び県老人クラブ連合会の活動を支援します。

達成目標

指標名	現状	目標 (令和5年度)
高齢者向けの学習事業を実施している市町村数	29 市町村 (令和元年度)	40 市町村
老人クラブ数及び会員数	クラブ数 1,469 会員数 45,177 (平成30年度)	維持